



M³構造科学拠点の
HPはコチラから

日本化学会 第106春季年会(2026) ランチョンセミナー

文科省 共同利用・共同研究システム形成事業～学際領域展開ハブ形成プログラム～

多プローブ×多対象×多階層の M³構造科学拠点形成

LS3-1

栗栖 源嗣 (大阪大学)

学際領域展開ハブ形成プログラム：
マルチ³構造科学拠点の紹介

LS3-2

伊藤 幸裕 (東京科学大学)

創薬化学者が知りたい構造生物学：
エピジェネティクス関連酵素を標的とした創薬研究を例に

日時・場所

2026. **3.20** **金**
12:00～12:45

日本大学理工学部 船橋キャンパス
A1434 (14号館 [3階] 1434)

問い合わせ

大阪大学蛋白質研究所 研究戦略推進室
uraoffice@protein.osaka-u.ac.jp